



こむねっとひろしま 検索

早稲田社協 ホームページ 地域ポータルサイトこむねっとひろしま

東区 早稲田学区

スマホの方は こちらのQRコードでもご覧いただけます♪
https://www.com-net2.city.hiroshima.jp/02waseda/

2022.8
(令和4年8月)
発行部数 3000部

お友だち募集中 LINE 公式アカウント

登録してね♪

早稲田社協

<編集・発行>早稲田学区社会福祉協議会 〒732-0063 広島市東区牛田東二丁目 12-23 早稲田集会所 2F TEL 082-225-3685

「共助」の精神に基づく地域コミュニティの活性化について

戦後80年を経ようとする時代を迎えて、新しい地域社会のあり方について、広島市の検討会が実施されました。

1. 令和3年3月、地域コミュニティを考えるシンポジウム開催(早稲田から西田・長田参加)
2. 令和3年度、4回に亘り地域コミュニティに関する懇談会実施(早稲田から西田参加)

その流れの中から、地域性を考慮し新たな協力体制への移行について検討され、『住民同士が支え合い、安全・安心に暮らすことができる地域を創り、持続可能な地域社会を築くことを目的として、広島市地域コミュニティ活性化ビジョン』を令和4年2月に策定。この説明のため市長講演会が開催されました。

多くの事例の中に早稲田社協の「7つのネットワーク」の紹介もされています。事例集も頂いていますので、また参考にしてこれからのまちづくりを考えていきましょう。

早稲田学区社会福祉協議会 会長 西田 志都枝

早稲田で開催「市長出張講座」

地域活性化に向けた取り組みについて、市長の思いを直接お聞きする市長出張講座が5月30日に早稲田公民館で開催されました。



講座では、地域コミュニティの活性化を進めるためには、新たな協力体制を整えて、各種団体が地域の将来像を共有し課題の解決に共に取り組むことが必須だとのことでした。

早稲田学区では、18年前から地域の各種団体が連携したネットワーク方式のまちづくりを行っており、講演であった「ビジョンに基づく新たな協力体制」と、「早稲田学区のまちづくりの体制」は酷似しており、早稲田の仕組みは先進的であったことを改めて認識しました。



ビジョンでは、地域コミュニティ活性化に向けた支援が用意されており、必要に応じてこれを活用するとともに、各種団体との連携強化や、人材の育成・確保など、持続可能な仕組みを、改善・維持することが重要であるとの思いを強くしました。

早稲田学区社会福祉協議会 事務局長 長田 照義

早稲田神社まで歩こう！ 熱中症予防講義

6月10日(金)早稲田神社境内

広島大学医学部・保健学科の学生たち4名が健康教育実習の一環として熱中症予防の講義をしてくださいました。「早稲田神社まで歩こう」に参加した方々を対象に、暑い夏に向けて、とてもタイムリーで好評でした。参加した「保健師の卵」交藤聖さんから、次のような感想が寄せられました。

「緊張していましたが、皆さんが温かく迎え入れてくれたおかげで、私たちも楽しく実施することが出来ました。今回、熱中症対策についてお話ししたことを、これから夏に向けてみなさんに取り組んでもらえると嬉しいです。今日は、貴重な時間をいただき、本当にありがとうございました。」

早稲田体協 杉本 日出明



わせたのニューフェイス2022

早稲田小学校PTA
会長 小林 大輔



PTA会長に就任致しました小林大輔と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私自身、早稲田に40年住んでおりとても住み良い街だと感じております。今回地域団体に参加させて頂き、改めてこの早稲田という街が安心安全なのは、地域の皆様に見守られての事だと実感致しました。

これから一年子どもたちの健やかな成長のために地域と連携して、思い出に残るようなPTA活動を心掛けて参りたいと思います。

早稲田学区公衆衛生推進協議会
会長 荒巻 誠次



この度、植村会長の後任として公衛協の会長に就任しました東二丁目の荒巻です。

公衛協の役割及び活動についてあまり理解していませんが諸先輩方の活動を継承し皆様のお役にたてればと思っています。中でも、公衆衛生募金は ①都市美化運動の推進 ②健康診査受診向上運動 ③献血推進運動 ④ゴミ対策推進事業 等々に活用され皆様の生活に密着した活動を行っています。今後ともご協力をお願いします。

第22回東区軽スポーツ交歓大会

6月5日(日)牛田中学校

この大会は、普段地域でお世話をすする事の多い東区体連、体協の役員の方皆さん自身も楽しもう！という趣旨で開催された大会です。

皆さんは【ラダーゲッター】というスポーツをご存じでしょうか？簡単に説明しますと、両端にボールを付けた紐(ポール)を7m程度離れたはしご(ラダー)に投げ、引っ掛かった位置等によって得点を競うニュースポーツです。



当日はローカルルールも交えながら、1チーム3人で各学区からの21チームが、予選リーグ・決勝トーナメントと楽しくプレーをしました。

私は開会式で試技の役を与えられたため事前に練習をしましたが、全くラダーにボールがかすりもしなかったものの、試技本番では、狙ったラダーに面白いように引っ掛かり、当日一番の歓声が挙がったことも申し添えておきます。最初はなかなかラダーに引っ掛からなかった人も、試合を重ねるごとにファインプレーも出ていました。各年代を問わず楽しめる競技で、もっとたくさんの人に知り、触れてもらいたいと感じました。



私はラダーゲッターの「ゲッター」って何なのかなとずっと思っていたのですが、閉会式で笑顔で商品を貰う選手を見ながら、ラダーに引っ掛け商品をゲッターか〜と綺麗に落ちがついたところで、報告を終わりたいと思います。

早稲田学区スポーツ推進委員 久保 武義

避難所開設訓練に参加して

6月11日(土)

避難所開設訓練に参加しました。避難所を運営するための手順や設備等を確認し、運営時の注意点など話し合い、実際に避難所設営を集会所、公民館で行いました。避難所が開設されないにこした事はありませんが、土砂災害危険区域の多い当学区では、避難所が開設された時に、避難者を受け入れる避難所運営側のスムーズな連携と対応の訓練する事が重要だと改めて認識できました。防災では「自分の命は自分で守る」が基本です。避難所が開設されましたら、率先して避難して下さい。その行動が周囲の避難を誘導する事になります。



牛田東4丁目
防災士 松本 晃徳

友楽タイム 卓球

6月25日(土)



友楽タイム「卓球」を3年ぶりに再開することができ、15名が参加してくれました。早稲田体協卓球部の指導者5人が3グループに分かれ熱心に指導し、みんな上達が早く楽しい時間を過ごしました。

練習する前に、「友楽タイムを知っている人？」と尋ねると、1〜3年生は全員知りませんでした。本当に驚きました。4年生以上は全員知っていました。友楽タイムの活動も20年になりますが、こんなことは初めてです。地域全体が認知し、知らない子どもは一人もいなかったし、小学生のジュニアリーダーも育って来ていただけに残念です。これからも「わせたっ子は地域の宝」として地域全体で見守っていきます。

友楽タイム実行委員会 会長 石飛 正博